

第40回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会

災害対策委員会企画

JSSCR災害対策の歩み

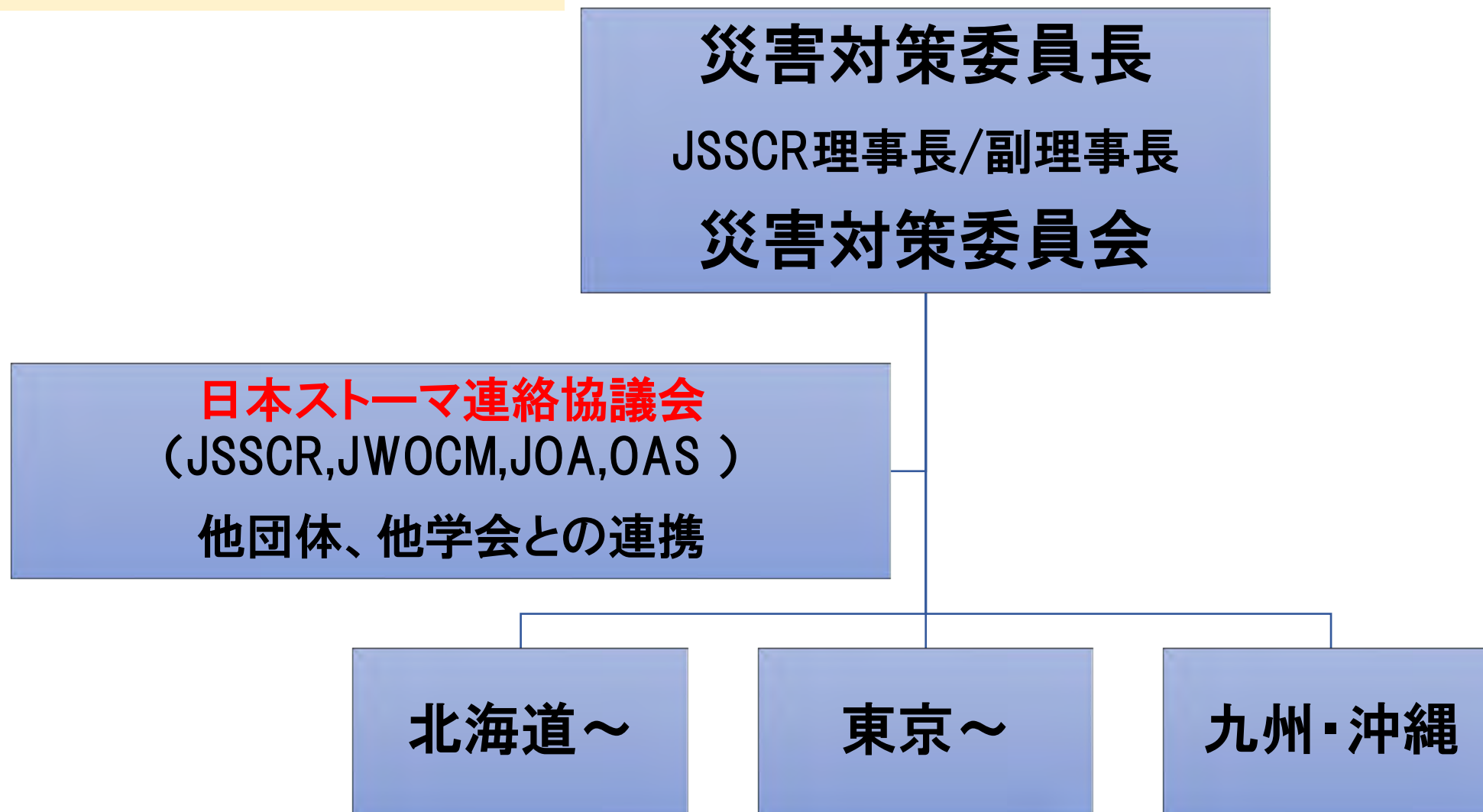
東日本大震災からの12年

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 災害対策委員会
委員長 靱山こずえ

JSSCR 災害対策ワーキンググループ

- 2014年4月 JSSCR「学会あり方委員会」の中に
災害対策ワーキンググループを立ち上げ
- 2014～2015年に7回の災害対策会議を開催
 1. 東日本大震災の状況把握
 2. ストーマ用品協会からの装具支援の配送状況と問題点
 3. 学会としての災害対策 **2015年11月災害対策委員会設置**
災害対策連絡網の構築、ストーマ装具支援体制の確立
ストーマ装具の備蓄推進
ストーマ保有者に対するリーフレット、広報による啓蒙活動

JSSCR災害対策組織図



JSSCR災害対策13ブロック

膀胱・直腸機能障害、小腸機能
障害の身体障害者手帳保有数

全国で約22万人

＋ 一時的ストーマ



ブロック

北海道

東北

北関東

東関東

東京

神奈川

甲信

北陸・上越

東海

関西

中国

四国

九州・沖縄

JSSCR 災害対策 13ブロック

ブロックと都道府県の
代表（医師）副代表（看護師）は
学会ホームページに掲載しています

ブロック	都道府県
北海道	北海道
東北	青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
北関東	群馬・埼玉・栃木
東関東	千葉・茨城
東京	東京
神奈川	神奈川
甲信	山梨・長野
北陸・上越	新潟・富山・石川・福井
東海	静岡・愛知・岐阜・三重
関西	大阪・京都・奈良・兵庫・和歌山・滋賀
中国	岡山・鳥取・島根・広島・山口
四国	愛媛・高知・香川・徳島
九州・沖縄	福岡・佐賀・熊本・長崎・鹿児島・大分・宮崎・沖縄

身体障害者手帳交付台帳登載数

令和3年度(2021年度)福祉行政報告例 2023/1/19公開

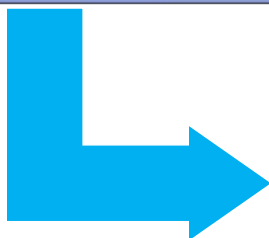
第2表 身体障害者手帳交付台帳登載数, 都道府県—指定都市—中核市×障害の種類、年齢(2区分)別
(報告表 14)都道府県・指定都市(別掲)・中核市(別掲)

【都道府県の総数は都道府県と指定都市と中核市を合計したことになります】

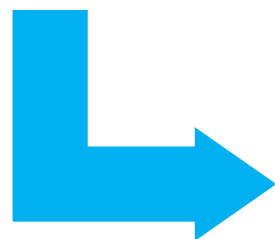
	ぼうこう・直腸機能障害			小腸機能障害		
	総数 人	18歳未満 人	18歳以上 人	総数 人	18歳未満 人	18歳以上 人
全国	225010	1770	223240	5064	336	4728
北海道	8449	38	8411	179	14	165
札幌市	3501	17	3484	132	4	128
旭川市	764	6	758	50	—	50
函館市	600	1	599	10	—	10
青森県	1887	25	1862	16	—	16
青森市	518	6	512	4	1	3
八戸市	467	5	462	8	1	7
岩手県	2144	20	2124	25	2	23
盛岡市	532	6	526	10	1	9
宮城県	2588	24	2564	45	5	40
仙台市	1753	21	1732	30	3	27
秋田県	1613	8	1605	23	3	20
秋田市	568	7	561	17	2	15

災害時 連絡網の構築

災害対策委員会



13のブロック長



都道府県代表

- ・ 地域分け
- ・ 各地域代表の選出

13ブロック・都道府県代表者
代表（医師）
副代表（看護師）
[ホームページに掲載中](#)

JSSCRの災害対策活動の歩み

1. 災害支援

- ・災害発生時に災害救助法が適用された地域で、
ストーマ用品を必要とする被災者の支援を行う。
- ・ストーマ用品セーフティーネット連絡会（OAS）と連携し、
緊急支援物資の手配や対応、ストーマ装具無償提供の情報発信等を実施する
- ・学会ホームページで情報を提供する。
また、支援の情報伝達を地域メディアへ依頼する。

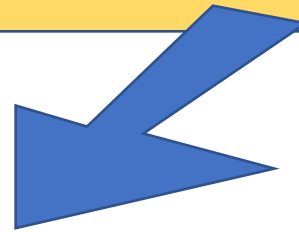
2. 災害対策

日本ストーマ連絡協議会の対応

災害発生



情報収集：被災状況
災害救助法適用地域の把握
販売店や病院施設の状況



個別の支援対応が可能か



販売店で対応

大規模災害になると

被災地へ支援物資

JSSCRとOASが
連携し支援活動
をリード

ストーマ装具の無料提供

・ 緊急時のストーマ用品供給

ストーマ用品セーフティーネット連絡会（OAS）は、日本ストーマ用品協会（平成 27 年 3 月 31 日付解散）を前身とし、日本国内のストーマ用品メーカーによって結成された団体です。当会は、災害発生時等の緊急時にストーマ用品を入手できずに困っているストーマ保有者のために、ストーマ用品を確保、無料提供する目的で次頁の対応を行います。

・ 無料提供対象メーカー・品目

無料提供するのは、ストーマ用品セーフティーネット連絡会会員が販売しているストーマ用品全般です。ただし、在庫状況によっては提供できない場合があります。なお、無料提供のストーマ用品の費用は、当会の会員会社の負担によるものです。

・ ストーマ用品提供対象者

災害救助法適用の市町村内被災ストーマ保有者で、家屋の倒壊等によりストーマ用品の持出しや入手が困難なストーマ保有者、並びに入手が困難な避難所、病院等の施設等。

個別の支援対応

5. ストーマ用品の供給ルート

ストーマ用品セーフティーネット連絡会

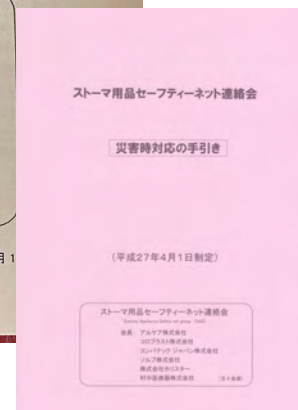
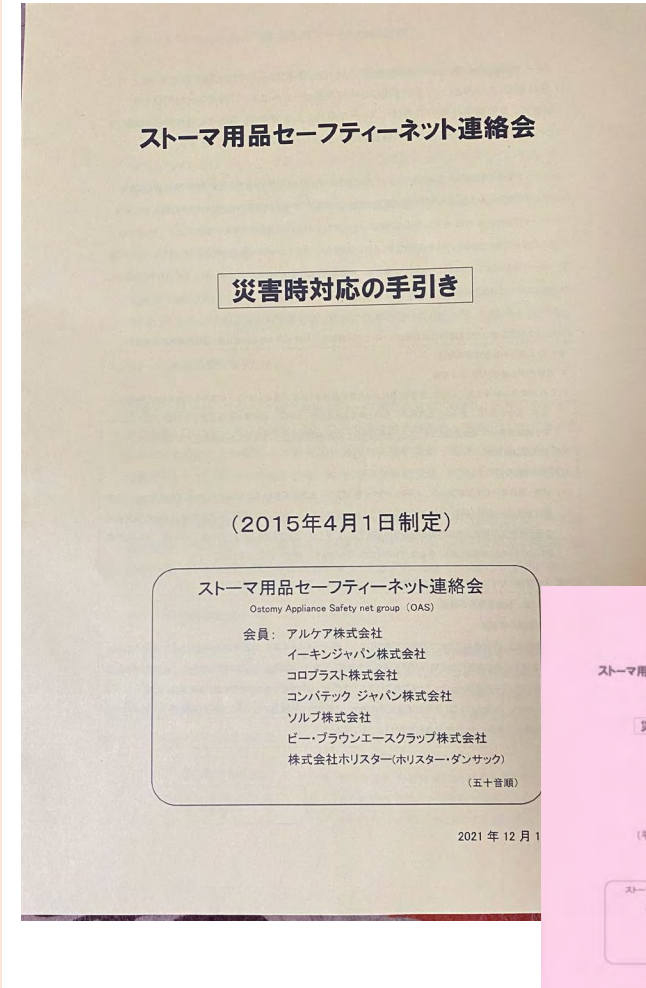
↓（無料提供依頼） ↓（事後補填）

被災地のストーマ用品取扱店

↓（緊急対応品）

ストーマ保有者、病院、自治体、
避難所等

**JSSCRホームページで
ダウンロードできます**



大規模災害発生時のストーマ用品支援

2016年

熊本地震での支援

被災地への支援物資

- * 単品系装具（在庫の状況により二品系も）
- * プレカット：サイズは消化管用35mm、尿路用は30mmを基本にメーカーで決定（フリーカットの場合はハサミ、フレンジカッター）
- * 用手成形皮膚保護剤、剥離剤をつける

それぞれ装具5枚を1セットとする（2週間分）
200セット、追加で92セット

消化管用	平面型	単品系平面型装具
		用手成形皮膚保護剤
		粘着剥離剤
消化管用	凸面型	単品系凸面型装具
		用手成形皮膚保護剤
		粘着剥離剤
尿路用	平面型	単品系平面型装具
		用手成形皮膚保護剤
		粘着剥離剤
尿路用	凸面型	単品系凸面型装具
		用手成形皮膚保護剤
		粘着剥離剤



支援物資の使用方法

ストーマ装具の使用方法

緊急時のストーマ装具のセットです。いつも使用している装具ではないので不便かもしれませんが、少しのあいだこの装具で代用してください。

セット内容：ストーマ装具 5 枚、皮膚保護剤、剥離剤

・装具にあいている孔が大きい場合は、セットに入っている皮膚保護剤でストーマの周りを保護してから装具を装着してください。皮膚保護剤は、はさみで適当な量を切るか手でちぎって、粘土のようにストーマのまわりに一周できるように形を整えてください。

・装具にあいている孔が小さい場合ははさみで切って使用しますが、はさみがない場合は面板の裏紙をはがしてから指で孔を広げて使用してください。

・水道が使用できない場合は、濡らしたティッシュなどで軽く汚れをふき取るだけでも数回の交換であれば構いません。



広報活動

テレビのテロップ、ラジオでの情報発信

放送局への連絡とインタビュー

ストーマ（人工肛門・人工膀胱）装具支援の広報依頼

今回の震災によって被災したストーマ保有者の方に対して、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会は、ストーマ用品セーフティーネット連絡会とともにストーマ装具の支援を行います。ストーマ装具を必要とするストーマ保有者に適切に早急に配布するために以下の広報にご協力をお願いいたします。

「被災されたストーマ保有者の方は、一か月間のストーマ用品無料提供を受けることができます。ストーマ装具販売店か病院にお問い合わせください。また、ストーマ装具が入手できずお困りの方は、緊急支援物資を(有)キムラにて平日9時から17時まで受け取ることができます。」

フェイスブック

[RKK 熊本放送](#)

1 時間前

[#rkkhodo](#) [RKK 調べ] ストーマ(人工肛門・人工膀胱)装具支援について

被災したストーマ保有者の方は、一か月間のストーマ用品無料提供を受けることができます。ストーマ装具販売店か病院にお問い合わせください。

詳しくは、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会の HP にて。

<http://www.jsscr.jp/>

ツイート

RKK 報道部 @rkkhodo 1 時間 1 時間前

[#rkkhodo](#) [RKK 調べ] ストーマ(人工肛門・人工膀胱)装具支援について 被災したストーマ保有者の方は、一か月間のストーマ用品無料提供を受けることができます。ストーマ装具販売店か病院にお問い合わせください。... fb.me/1cwlWdwwg

行政への支援依頼

熊 本 県

障害保健福祉担当課 御中

熊 本 市

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
企画課自立支援振興室

被災されたストーマ保有者に対する支援について（情報提供）

この度の熊本地震により被災されたストーマ保有者に対し、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、ストーマ用品セーフティネット連絡会、公益社団法人 日本オストミー協会が共同し、「5枚1組とした支援汎用ストーマ装具の緊急配布」「約1か月分のストーマ装具を無料提供」「相談窓口の設置」を行うとの報告並びに周知依頼を受けました。

つきましては、別添のとおり情報提供させていただきますので、管内市町村並びに高齢者福祉担当部局などの関係部局への周知をお願い申し上げますとともに、避難所が開設されている自治体におかれましては、各避難所への周知方、特段のご配慮をお願い申し上げます。

なお、当該団体の取組みに関する問合せについては、下記問合せ先までお問い合わせいただきますよう、お願い申し上げます。

〔団体への問合せ先〕

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会

広報活動 JSSCRホームページ

JSSCR災害対策委員会の災害支援について

平成28年4月15日、内閣府（防災担当）より平成28年熊本県熊本地方の地震に係る災害救助法の適用について【第1報】が出されました。熊本県は県内全45市町村に災害救助法の適用を決定いたしました。

1. ストーマ保有者数について

身障手帳保有数は熊本県1835名+指定都市854名、大分県1122+中核都市501名（厚労省、社会福祉行政報告）で一時ストーマ保有者は永久ストーマの20から30%と見る必要があると思われます。少なくとも見積もっても、熊本県約3500名、大分県約2100名のストーマ保有者の方々がいらっしゃる考えられます。

被災地域は限られており、どの程度のストーマの保有者の方々がいらっしゃるか推測は困難ですが、津波の被害がなかったことから災害対策委員会、用品メーカーではおよそ10%のストーマ保有者の方が避難生活を強いられているのではないかと予測しております。

支援物資受け取り場所の調整と広報

- ・販売店、病院、避難所に対応

JSSCRホームページより

2. ストーマ装具支援について

JSSCRでは、被災ストーマ保有者へストーマ装具が提供できるよう日本オストミー協会、日本セーフティネット連絡協議会とともに支援を致します。

5枚1組とした汎用装具を支援物資としてストーマ装具販売店に配布いたします。
受け取れる場所につきましては、ホームページ上に情報を更新するほか、熊本県内のテレビ、ラジオにて情報を提供する予定です。受け取り場所はマップにてご確認ください。

- ▶ 4月22日より熊本市(有)キムラにて受け取ることができます。(平日9時～17時)
- ▶ 4月25日より熊本市アイティーアイ(株)にて受け取ることができます。
- ▶ 4月27日より天草市(株)八尾日進堂天草営業所にて受け取ることができます。

[ストーマ装具緊急支援物資](#)

[ストーマ装具販売店マップ](#)

[関連医療機関マップ](#)

テレビ・ラジオで情報発信

- ・熊本県内のテレビ局、ラジオ局9社に電話連絡
- ・F A Xにてストーマ装具支援の広報依頼文書を送付
- ・インタビューにてストーマ、装具の必要性、JSSCRの活動について説明

大規模災害時のコンテンツ

- ・ストーマ装具支援について
- ・緊急支援物資の内容、受け取り場所、販売店マップ、関連医療機関マップ
- ・ストーマ装具の無償提供について
- ・ストーマ装具販売店、関連団体ホームページの情報
- ・相談窓口の案内

JSSCRの災害対策

1. 災害支援 学会の後方支援体制の整備ができてきた

2. 災害対策

- ・ 災害対策連絡網の構築 13ブロック連絡網、地域連絡網
- ・ 地域の災害対策強化 地域代表者会議の開催
- ・ 行政への働きかけ 日本オストミー協会と協同
- ・ 関連団体との連携 日本ストーマ連絡協議会
- ・ 災害対策の啓蒙 リーフレットの作成、配布
総会での災害対策委員会企画 2016年～

神奈川県 災害対策地域分け

- 1 横浜第1支部
- 2 横浜第2支部
- 3 川崎支部
- 4 横須賀支部
- 5 湘南支部
- 6 県央支部
- 7 相模原支部
- 8 小田原支部

各支部の代表と拠点
病院を数か所決定

47都道府県すべての支援体制構築には至っていない
各地域の災害対策強化が望まれる



市町村でのストーマ装具備蓄事業

神奈川県の備蓄事業の現状 2019年調査

33の市町村 （政令指定都市 3、中核市 1）

個人の装具を備蓄 27

- ・手帳保有者に周知 22
- ・希望者に対応 5

市町村で購入し備蓄 3

＊装具の種類は身体障害者福祉協議会などと検討

対応予定なし 3

他県では、自治体と販売店が
災害時ストーマ装具の調達業務を委託契約
している場合もある

市町村の個人装具 預かり備蓄事業

27の市町村で実施中

身体障害者手帳申請時やストーマ装具給付申請時に案内

保管場所：行政の関連施設や市庁舎
多くの市町村が複数の保管場所を提示

保管条件：袋や箱の大きさを規定
1年ごとまたは半年ごとに装具を入れ替えるよう指示

オストメイトの皆さんへ
(人工肛門・人工ぼうこう保有者)



オストメイトマークは、人工肛門・人工膀胱を使用している方（オストメイト）のための設備があることを表しています。

災害に備えて ストーマ用装具をお預かりします

皆さんは、日ごろから地震など災害に備えて、自宅のほか親戚や知人宅にストーマ用装具の保管をしていると思います。

しかし、災害時において住居が被災し、ストーマ用装具の持ち出しが出来なくなることが想定されます。そのため、市では、皆さんが使用しておりますストーマ用装具を、市内5箇所の施設でお預かりし、保管する事業を実施しています。

保管を希望される方は、別紙申請書に記入の上、郵送又は持参にてお申し込みください。

ストーマ装具保管依頼書兼同意書

平成 年 月 日

小田原市 障がい福祉課長 様

依頼者

住所 小田原市

ふりがな

氏名

電話番号

日常生活用具給付等事業の実態把握

令和3(2021)年3月

- 全市区町村1741への調査
- 結果 857の市区町村が回答
- 災害時に備えた用具の備蓄事業等(ストーマ装具) 4.3%
- JOAへのヒアリング調査結果

災害用のストーマ装具の備蓄は自助で行っている。自治体によっては、一般的な製品を災害用に備蓄しているところもあるが、個人に適した製品という訳ではないので、個人で備蓄する、災害時に自治体が個人の希望する製品を手配する仕組みをつくるなどの工夫が必要だろう。

また、ストーマを医療器具として捉え、日常生活用具と考えていない自治体がある。そのため、自治体の備蓄や物資供給協定の対象から、ストーマ装具が外れてしまっているところが多い。ストーマについては、食料や衣服、オムツと同様であるという認識に基づき、備蓄や物資供給協定の仕組みを市区町村に作ってほしい。このような対応は、患者団体ではなく厚生労働省が提言すべき。

各地域でJSSCRとJOAが協同し、行政へ働きかけをしていくことが必要

自治体のストーマ装具支援体制

2021年度JOA調査
959/1741市区町村

• 市区町村が購入し備蓄	5.1%
• 個人装具の預かり備蓄事業	8.3%
• 販売店と災害時のストーマ装具 調達を委託契約	4.7%
	15.5%

2019年3月日本オストミー協会 オストメイト生活実態基本調査報告書では
非常用持ち出し品の準備をしている 59.3%
その中にストーマ装具を入れている 92.9%

ストーマ保有者に必要な災害の備え

非常用持ち出し用品

各自が最低 1 カ月分のストーマ装具を備蓄することが大切です。
使用装具はいつでも持ち出せるように準備しておきましょう。

その時に!!

大災害が起きますと生活に必要なインフラ設備が寸断され、日常生活に大きな支障をきたします。
特にストーマ保有者の方々は、被災直後から排泄管理の問題に直面します。
ストーマ装具の供給とストーマのケアは、ストーマ保有者にとってのライフラインです。

JSSCR(日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会)は被災されたストーマ保有者の皆さんを支援します。

JSSCRでは日本を13ブロックに分けて支援ケアを行います。また、地域ごとに様々な状況に備かれていますので、今後、各地域に適切な対応を検討していきます。

北海道ブロック 北海道
東北ブロック 青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東ブロック 栃木、群馬、埼玉、茨城、千葉、東京
中部ブロック 神奈川、山梨、長野
北陸ブロック 新潟、富山、石川、福井
東海ブロック 岐阜、愛知、岐阜、三重
関西ブロック 大阪、奈良、京都、奈良、滋賀、和歌山
中国ブロック 広島、岡山、鳥取、山口、徳島
四国ブロック 高松、香川、愛媛、高知
九州・沖縄ブロック 福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島

● JSSCR の支援

ストーマ装具の供給支援

- JSSCRはストーマ用品セーフティネット連絡会に、ストーマ支援物資を要請します。
- 被災されたストーマ保有者には、ストーマ用品セーフティネット連絡会から「緊急時のストーマ用品供給」として災害発生から約1ヶ月分のストーマ装具が無料提供されます。支援物資がストーマ保有者へスムーズに届くようお手伝いします。
- JSSCRは都道府県などの行政に、ストーマ装具の平時の備蓄を働きかけていきます。

ネットワークケア支援

- 災害発生時には、被災されたストーマ保有者が全国のストーマ外来で受診できるように支援します。
- * 遠方に避難をされた場合でも、お近くの病院でも受診できるようにネットワークを拡げています。
- 避難所に避難された方の支援をおこないます。

広報支援

- JSSCRは地方自治体の障害福祉課、マスコミなどに働きかけてTVのデロップ放送、ラジオ放送などに協力を要請しますのでテレビやラジオの情報に注意してください。

学会の対応

- JSSCRでは災害対策委員会を常設し、その時に備えています。
- 災害発生時には、「日本ストーマ連絡協議会」の緊急会議を開き連携をはかります。
- *「日本ストーマ連絡協議会」は、JSSCR、日本オストミー協会(JOA)、ストーマ用品セーフティネット連絡会の3団体による会合(年3回)をもち、情報交換を行っています。また、他学会(WOC管理学会など)と連携しています。

● ストーマ保有者の皆さんへ



その時に備えて!!

各自が最低1ヶ月分のストーマ装具を備蓄することが大切です。

使用装具はいつでも持ち出せるように準備しておきましょう。

でも...♥ 命を守ることが最重要です。
ストーマ装具が持ち出せない場合は避難することを優先してください。

その時のために覚えておきましょう!!

- 1 支援物資は簡便なタイプの装具が供給される可能性が高いため、非常時には簡便なケアが求められます。
*たとえば単品系が二品系のように、日頃使用しているタイプと異なるストーマ装具が支給されるかもしれません。
- 2 ストーマ周囲皮膚を入浴や石鹸で洗うことが難しい場合、短期間であれば簡単に汚れをふき取るだけでも問題ありませんが、水のいらない洗浄剤もあります。
- 3 水の確保が難しい時は灌洗排便(洗腸・イリゲーション)を一時的に中止しなければならないため、日頃より自然排便法による管理もできるようにしてください。
- 4 避難所生活をされることになった場合、ストーマを保有している事を避難所に伝えてください。
*ストーマ専門医療者が訪問できる場合はわかりやすいマークをつけて活動する予定です。
専門のスタッフと連携が取れる避難所にはわかりやすいフラッグを掲げる予定です。
- 5 自分のストーマの情報を正しく伝えられるように、右ページに記入して携帯するようにしてください。

備えあれば安心! 自身でチェックしましょう!

ストーマのタイプ

- 便・回腸(おなかの右側) ☒
- 結腸(おなかの左側) ☒
- 尿 ☒
- ストーマのサイズ
- その他

非常時の持ち出し用品

- ストーマ装具 枚
- メーカー:
- 品名:
- 品番:
- 底板の孔の直径:
- *自由開孔(フリーカット)の底板にはあらかじめ孔を開けて保管しておきましょう。
- ティッシュ ☒ ● 水のいらない洗浄剤 ☒
- ゴミ袋 ☒ ● はさみ ☒ ● ばんそうこう ☒

問合せ先(手術を受けた病院の連絡先)

病院名
電話番号
担当者(決まっていれば)
販売店名
電話番号
住所

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
災害対策リーフレット

ストーマ保有者の皆さんへ
災害時情報と日頃の心得



災害対策リーフレットは、
JSSCRホームページでダウンロードできます
学会員への無料配布もしています

災害用のストーマ装具（自助）

- ・非常用持ち出し袋に約 2 週間分のストーマ装具を準備する。状況によって持ち出せない場合も考え、自宅内や身内の家など数か所に保管しておく。

日常生活指導：
日頃から装具交換セットを 1 組持ち歩く
帰宅困難対策にも



オストメイト災害安心セット

災害に備え準備する物品

- ・ ストーマ装具約 2 週間分
自由開口面板の場合はハサミを準備するか、予めカットしておく
- ・ 粘着剥離剤、用手成形皮膚保護剤などのアクセサリー
- ・ ウエットティッシュや水のいらない洗浄剤
水が使えない状況でも対応できるようにしておく
- ・ ビニール袋、ティッシュペーパー、タオル、
洗濯ばさみ、絆創膏など



年に一度は点検し、新しい装具と交換する

大規模災害時のストーマ装具交換

避難所では装具交換できる場所を確保できない
いつも使用しているストーマ用品が手に入らない

⇒ 皮膚の洗浄を簡単にすませる
装着期間を延長する など応急的なケアで対応

灌注排便法で管理をしているストーマ保有者は、場所や水の確保が困難となる場合がある

⇒ ストーマ装具を使用し自然排便法で管理

SR基礎教育講習会用GIO・SBOs 第8版

GIO21：災害におけるストーマ保有者に予測される不利益に対処できるようにするために、ストーマ保有者のための災害対策を理解する

SBOs：

21-1. ストーマ保有者に必要な災害の備えについて述べることができる (A)

* 非常用持ち出し用品、ストーマ用品の備蓄、連絡先（病院、販売店）、
ストーマのタイプなどのチェックリスト

21-2. 災害発生時のストーマ用品に対する支援について述べることができる (A)

* ストーマ用品支援物資、ストーマ装具の無償提供、支援物資を受け取る場所

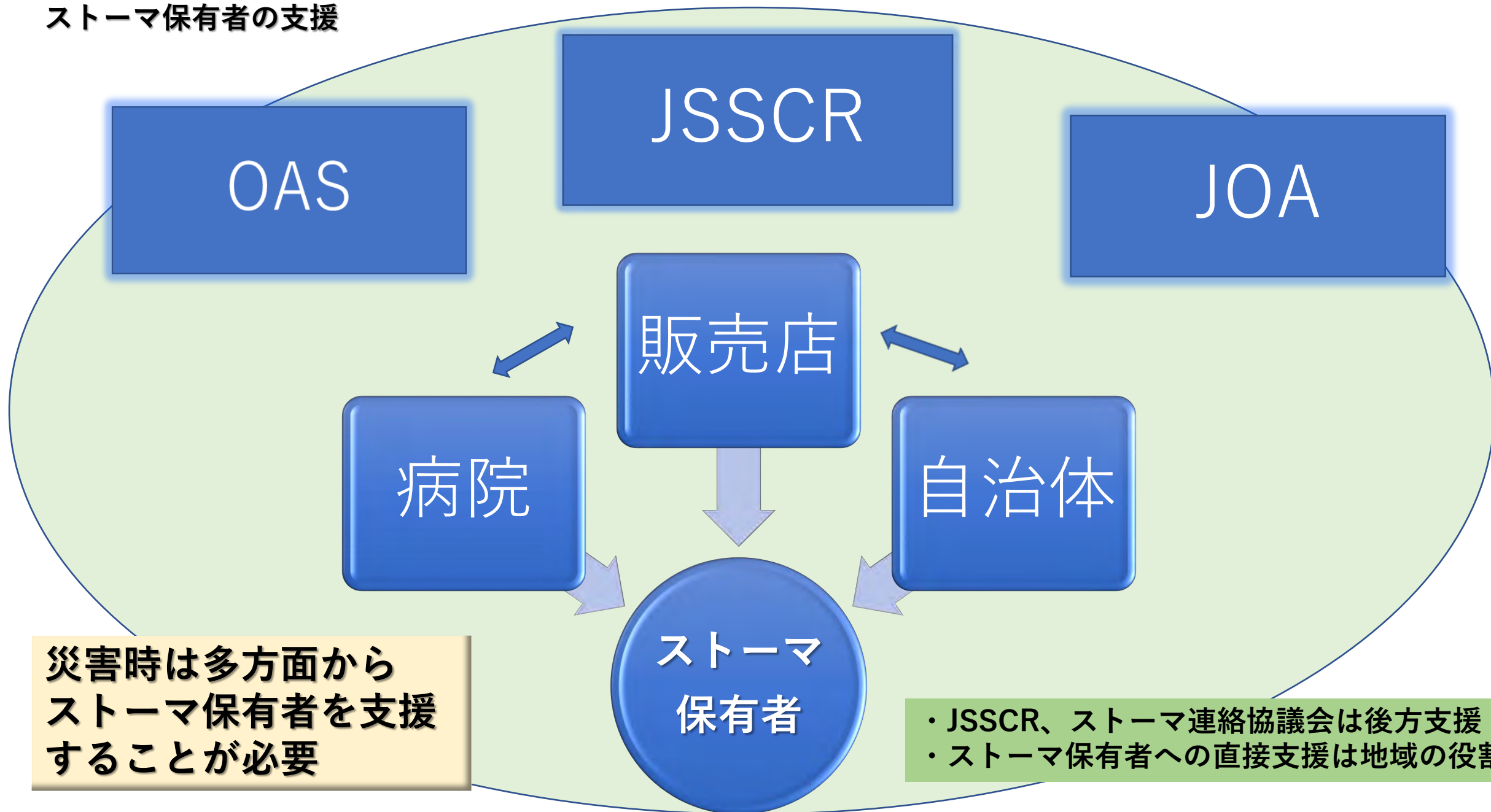
21-3. JSSCR（日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会）、JOA（日本オストミー協会）、
OAS（ストーマ用品セーフティネット連絡会）の三者による日本ストーマ連絡協議会が災害対策を協議していることを述べることができる (A)

21-4. 市区町村が整備を進めているストーマ用具の備蓄の実際を述べることができる (A)

21-5. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会の災害対策委員会が行っている事業を述べる
ことができる (A)

* 災害対策ブロックを作ったの活動、災害対策リーフレットの作成配布、
日本ストーマ連絡協議会の参加

ストーマ保有者の支援



JSSCR 学会員の役割

- ストーマ保有者と関係者へ災害対策を周知する
ストーマ装具の備蓄や支援体制、
災害時のストーマケアについての指導を充実させる
- 地域の災害時支援の対策を知り、災害時支援の役割を担う
- 地域のストーマ装具支援体制を構築する ～ 今後の課題
拠点施設の決定、販売店・JOAとの連携、行政への働きかけ
災害時連絡網と連絡手段の確立、災害時マニュアルの作成